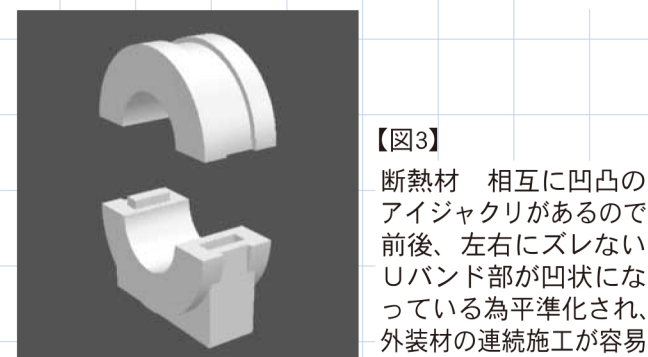
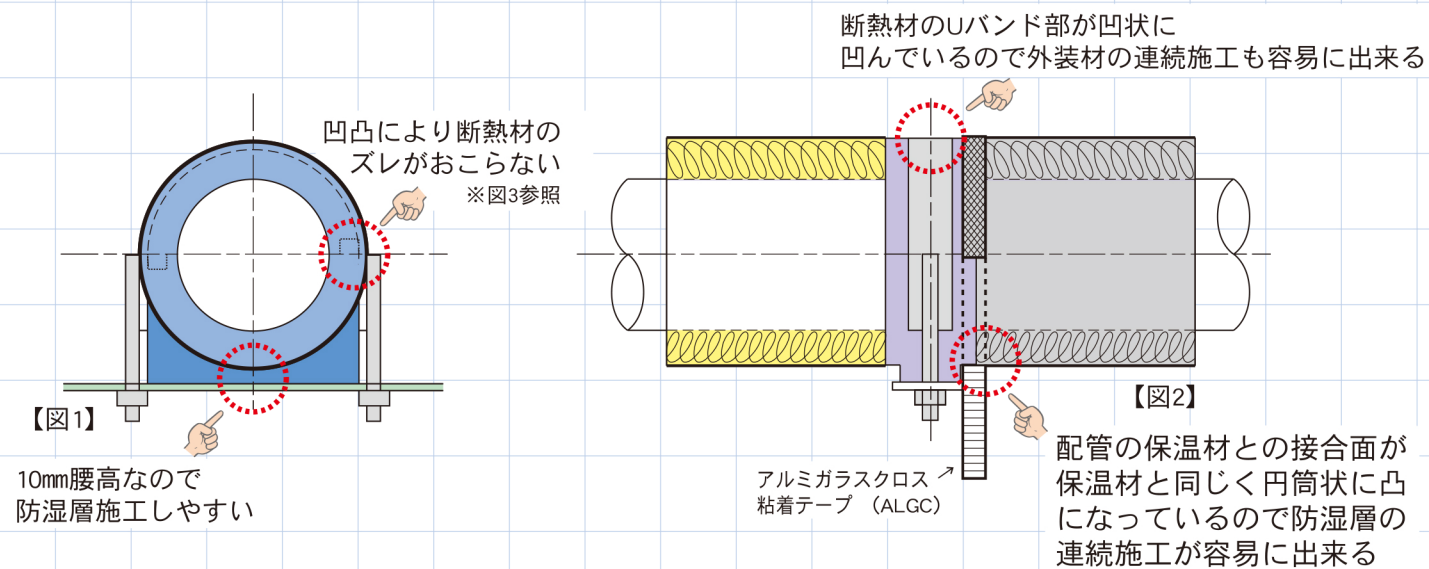


ダイヤリング 配管用断熱支持具

ダイヤリングボード

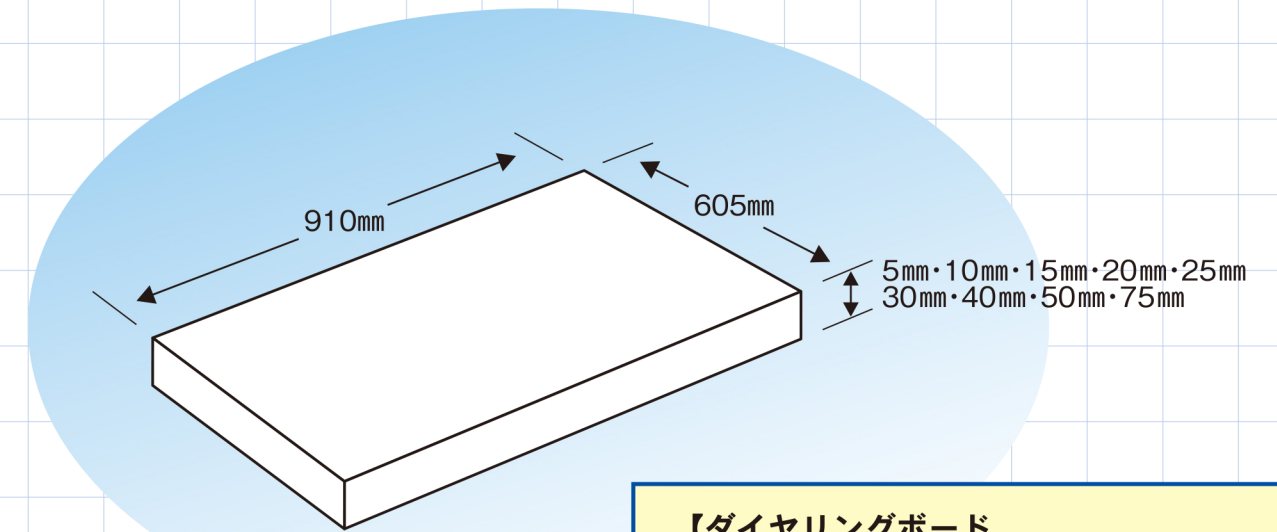
特徴

ダイヤリングは全て耐熱仕様です(80℃以下)



その他特徴

- ① ステンレススチールへの応力腐食がおこりません。
- ② ポリスチレンフォーム保温筒JIS3号と同等の低い熱伝導率で保温筒との連続施工が容易な為、表面結露がおこりにくい。
- ③ LCACO₂原単位が小さい。
- ④ リサイクル性が非常に高く、100%可能である。



【ダイヤリングボード
圧縮強度 250N/cm² (25.5kg/cm²)】

標準サイズ	5×605×910mm	30×605×910mm
	10×605×910mm	40×605×910mm
	15×605×910mm	50×605×910mm
	20×605×910mm	75×605×910mm
	25×605×910mm	

標準サイズ以下でしたら指定サイズにmm単位で切り出しが可能です。
また、貼り合わせも可能です。

⚠ 施工上の注意

- ① ダイヤリングと保温筒は密着させ外気の進入がない様にテープ等でしっかりと固定して下さい。
- ② 金具の締め方は過度にならない様に注意すること。

ダイヤリング取扱い上の注意事項

1. 難燃剤を含有し、自己消火性ですが、燃える性質があります。
保管・施工にあたっては、特に溶接、溶断の火に充分ご注意ください。
消火方法は一般火災と同じで差しかえありません。
2. 使用温度は、配管表面温度80℃以下でのご使用を御願います。
3. 温度上昇に伴い、断熱材部分の圧縮強度が低下しますので、使用温度範囲で御使用下さい。
4. 多くのプラスチックと同様に、断熱材部分は紫外線によって劣化しますので、直射日光を避けるようご注意ください。
5. 金具とプラスチックの組合せ製品ですので、破棄する場合は、各地域の廃棄物処理指針に従って処理して下さい。
6. 金具は締め付けすぎないように注意し、施工して下さい。
7. ダイヤリングは、国土交通省大臣官房官庁宮繕部監修機械設備共通仕様書平成22年度版の横走り管の棒鋼吊り支持間隔に準拠し設計しています。仕様書支持間隔を超さないように施工して下さい。
8. 局所的な偏荷重や急激な荷重・衝撃をできるだけかけないように注意して下さい。

以上の注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。詳細は弊社にお問い合わせ下さい。

施工例



施工例

